

4 水道局の組織

8部室 35課で約1,500人の職員が働いています。

〔部名〕 〔技術職のおもな仕事〕

総務部	災害対策・技術技能に関する人材育成など。
経営部	局事業の企画、情報システムなど。 ※経営部は事務職が多く配置されています。
事業推進部	局の資産活用、民間との連携事業、国際事業など。
水道局 給水サービス部	水道事務所（市内7か所）での水道管の維持管理、計画断水、漏水調査など。 他に水道事務所全体の統括をする部署もあります。
配水部	配水管理課（市内2か所）での水道管内の水の流れや配水ルートや工事課（市内2か所）での水道管の設計や工事監督など。
浄水部	浄水場（市内3か所）での浄水処理や電気機械設備の維持管理など。 設備の設計や工事監督を行う部署もあります。
施設部	浄水場や配水池などの基幹施設の計画調整、設計・工事監督や局全体の技術監理など。
西谷浄水場再整備推進室	西谷浄水場の再整備の推進。

水道技術職は上のアンダーラインの3つの部を必ず経験します！

水道局内のいずれの職場にも配属になる可能性があります。



横浜市水道局キャラクターはまピョン

5 採用試験

試験の種類	高校卒程度
申込期間	令和5年6月22日（木）～7月19日（水）
第一次試験	令和5年9月24日（日）
試験科目	未定 【参考：令和4年度実績】 ・第一次試験 一般教養・専門（ともに選択式） ・第二次試験 面接
合格実績	令和4年度：9人 （H28～R1年度：各10人、R2年度：7人、R3年度：9人）

※新型コロナウイルス感染症の影響等で、試験日程等が変更になる場合があります。変更がある場合は、横浜市職員採用案内ホームページ及び横浜市人事委員会事務局公式Twitterにて、随時お知らせします。

6 人材育成

考え方

水道局では「人材こそが最も重要な経営資源」であることを念頭に人材育成を進めています。

OJT（日々の仕事を通して、知識・技術などを習得する訓練のこと）を中心に、人事考課・研修・人事異動を組み合わせ、みなさんの成長を組織全体で支えます。

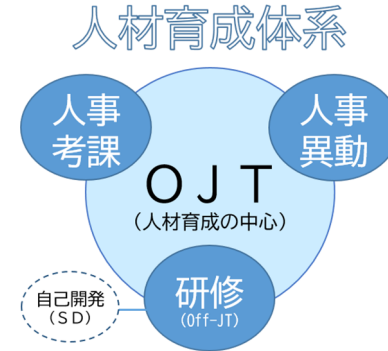
水道技術職のみならず企業や大学と連携した研修も行っています。

育成期間

採用後の10年間を「育成期間」と位置づけています。

水道技術職はこの10年程度で「給水サービス部」「配水部」「浄水部」の3つの職場で経験を積みまします。

この水道特有の「浄水・配水・給水」の3分野を経験することにより、水道の技術を総合的に理解することができます。その上で、育成期間終了後は統括部門や設計監督部門も含め、適性に応じ局内の各部署で力を発揮します。



7 勤務条件

給与 〈令和5年度の初任給（地域手当含む）〉

【高専・短大卒】 191,052円

【高校卒】 178,408円

卒業後の職歴等がある場合などには、一定の基準に基づいてこの額に加算される場合があります。このほか、通勤や勤務などの状況に応じて、通勤手当、住居手当、扶養手当、超過勤務手当などの手当が支給されます。

勤務時間・休暇

【勤務時間】

8：30～17：15（休憩12：00～13：00）

勤務を要しない日：土曜日及び日曜日

休日：国民の祝日・12月29日～1月3日

※勤務場所によって、土日祝日勤務、夜間勤務、深夜業を含む交代制勤務あり

【休暇】年次有給休暇（年間20日間）・夏季休暇・病気休暇・結婚休暇など

採用後の住居を一時的に支援します



県外出身の職員が横浜市水道局での勤務を安心してスタートできるよう、採用後の一時的な住居として局の施設を貸与します。

【場所】 横浜市瀬谷区二ツ橋 553
（三ツ境水道事務所敷地内・相鉄線三ツ境駅徒歩15分）

【対象】 令和6年度入庁の水道技術職職員
（原則神奈川県・東京都在住の方を除く）

【入居期間】 令和6年3月～12月（予定）

＜ウェブサイト＞

令和5年6月 横浜市水道局総務部人事課
〒231-0005 横浜市中区本町6丁目50番地の10
TEL：045(671)3110 FAX：045(212)1156



横浜市 水道技術職

検索

令和5年度 横浜市職員採用案内

横浜市水道局

水道技術



横浜市水道局では長い歴史の中で培ってきた技術を活かして、横浜に住む人や働く人、企業などに、24時間365日絶え間なく「安全で良質な水」を提供しています。

「水道技術職」は、こうした水道特有の技術を習得し、未来に伝えていくことを目的に、平成29年度から採用を始めた職種です。水道局では皆さんと一緒に技術継承に取り組んでいけることを願っています。

1

特色

くらしとまちの未来を支える
ライフライン

人の体は約60%が水分です。飲み水やトイレ・洗濯など、私たちの生活に水は欠かせないものです。また、安定した水の供給は企業や商店、工場などの活動を支えており、横浜の経済や産業の発展に役立っています。

日本で最初の近代水道

1887年に給水を始めて136年。水道のパイオニアとして、長い歴史の中で培ってきた技術力を発揮するとともに、最新の技術にも積極的に挑戦しています。技術職として他ではできない経験ができます。

日本最大の基礎自治体

横浜市の人口は約370万人。市としては全国1位です。市民対応、施設の維持管理、大規模施設の計画など、様々な仕事があります。市を越えて他都市と協力して行う仕事もあります。

浄水処理

浄水場では、湖や川の水から飲み水を作り、市民の皆さまにお届けしています。雨が降って水が濁ったり、夏は藻が増えたりと水の中身が日々変化するので浄水処理の方法も常に変わります。そのため天気予報にも常に気を配りながら仕事をしています。

『市民対応だけでなく、自然への対応も仕事です』

令和元年の台風15号と19号は、今までにない規模で降雨や河川の氾濫がありました。緊張の糸が張り詰める中、先輩職員たちが熟練の技術を発揮して対応しているのを横目に、新人の私はダム管理者からの緊急放流の予告を電話で受けたり、水の状態の変化に何とかついていく状態でした。困難な経験でしたが、大きな成長を私に与えてくれました。



水道局浄水部小雀浄水場
電気職 森川 達朗
令和元年度入庁

電気機械設備の維持管理

浄水場やポンプ場にある電気・機械設備は常に良好な状態に維持管理することが必要です。そのために設備の日常点検や補修・更新工事を行い、設備が最適な状態を維持できるようにメンテナンスを行っています。

『施設の維持管理が市民の安心につながります』

現在、老朽化したポンプの更新工事を担当しています。関連部署と調整をして、時間の制約がある中、工事と試運転を何日も夜通しで行い、工事を無事完了させました。安堵とともに大きな達成感を得ることができました。



水道局浄水部西谷浄水場
機械職 中川 享
令和元年度入庁

水運用



水道局配水部南部方面配水管理課
水道技術職 村山 拓巳
平成30年度入庁

配水管理課では、水道管内の水の量や流れる向きをコントロールして、浄水場で作った安全で良質な水をお客様のもとへ送る仕事をしています。実際に現場へ出向いて作業することもあります。

『多くの市民の皆様に影響のある仕事であり、責任を感じます』

数万戸のお客様に関わる仕事に、計画から実行まで担当者として関わることがありました。責任をとっても感じましたが、無事やりとげることができました。

市民の皆様のご生活や健康に直結する作業だと思えば、とてもやりがいのある仕事だと感じます。

施設の計画・設計

大正4年に創設した西谷浄水場を全面的に再整備する工事の監督を行っています。設計と工事を一括して発注するDB（デザインビルド）方式による浄水場整備では国内最大級の規模で、整備期間が約10年間、事業費は約1千億円の大規模工事です。



水道局西谷浄水場再整備推進室
再整備推進課
土木職 土屋 太一
平成29年度入庁

『責任が大きい分、やりがいのある仕事』

西谷浄水場の再整備は、監督一人ひとりが担う事業費が膨大で、その分、責任も大きいです。しかし、完成後100年以上給水を続け、横浜のランドマークとして残していくための監督業務はとてもやりがいを感じます。

水道管などの維持管理

水道事務所では、24時間365日安心して水を使うことができるよう、お客さま宅に伺い、水漏れや水質の調査、水道管工事などのための断水作業、水道管内の洗浄作業など、様々な業務を行っています。

『現場ではお客さまを身近に感じることができます』

泥や汗まみれになり大変なこともありますが、お客さま宅に伺い作業を行ったり、道路上で作業をしていると、市民の皆さまから「ありがとう」「お疲れ様」と声をかけていただけることが多くあります。そのたびに、「この仕事をするのができて良かった」とやりがいを感じています。



水道局給水サービス部
洋光台水道事務所
水道技術職 中村 遥
令和元年度入庁

施設の工事監督

生活に欠かせない水道水が安全に供給できるよう、古い水道管を新しいものに取り換える工事の監督をしています。

工事の安全や工程の管理、地域にお住まいの皆さまからの問い合わせなど、幅広い仕事に携わります。

『安全でおいしい水をお届けするためにがんばっています』

採用1年目から担当工事を持ち、専門用語や業者との調整に初めは戸惑いましたが、先輩方の協力で完了しました。

日々知識が付き、自分で判断・行動ができる実感が湧き頑張ってきたとやりがいを感じます。



水道局配水部南部方面工事課
土木職 桐生 恵
令和2年度入庁

水道施設の更新・耐震化

高度経済成長期(昭和30~40年代)に設置した水道管や施設の更新・耐震化を進めています。



配水池の工事

国際貢献

アジア・アフリカ地域の水事情の課題解決に貢献しています。令和元年度末までに34か国、450人を超える職員が海外に派遣されています。



アフリカの研修員を対象とした水道メーターの研修

災害時の対応・派遣

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、平成30年7月豪雨等の災害時には被災地に職員を派遣し、水道施設の復旧等に協力しています。



平成30年7月豪雨時の職員派遣